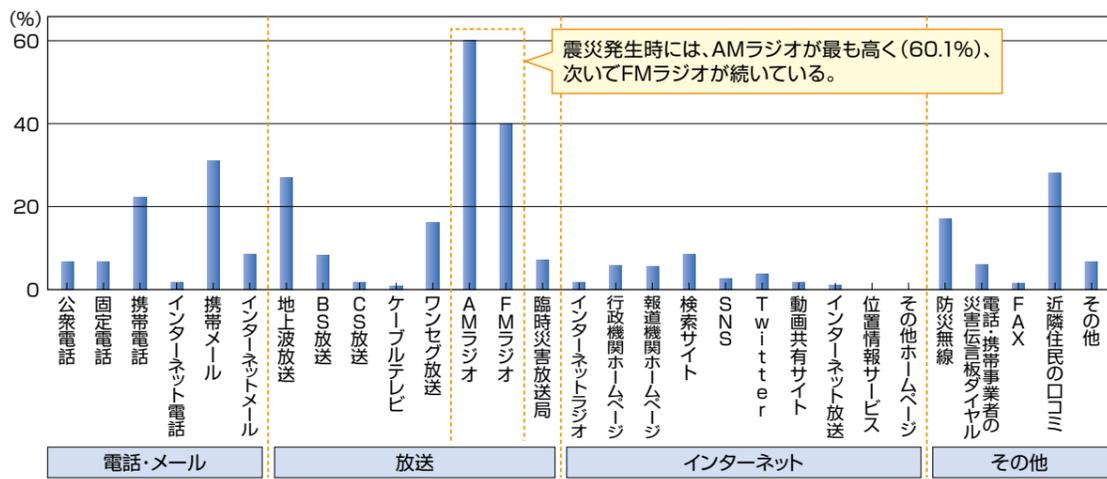


東日本大震災のときのように、停電が起こると、テレビやインターネットといった、私たちがふだん情報を得ている手段を失います。このようなとき、どのような情報をなにかから入手すればよいのでしょうか。

考えてみよう

災害のとき、どのような情報手段が有効か考えてみましょう。

震災発生時の有効だった情報手段



参考：総務省ホームページ「災害時における情報通信の在り方に関する調査(概要)」(平成24年)を加工して作成

災害のとき、今いる場所が安全かどうかなどの命に関わる情報が、まず知りたい情報です。東日本大震災直後では、ラジオからの情報入手が有効でした。しかし、被害があまりにも大きかったため、地域の細かな状況までわからず、不安な時間を過ごすというケースもありました。



今ならどんな情報手段があるのかな。



話してみよう

避難には、どのような情報が必要とされるかについて話し合ってみましょう。

複数の手段により情報収集ができるようにしておく準備も必要です。さらに、近所の人にも重要な情報源ですが、災害の中で混乱している場合があるので、まちがった情報に惑わされないようにすることも大切です。

使ってみよう

災害時、家族が無事であるか心配になります。大きな災害が発生した場合には、安否確認、問い合わせなどの電話が殺到することで、電話回線が集中し、つながりにくい状況になります。安否などの情報を音声によって登録・確認できる「災害用伝言ダイヤル(被災地エリアで使用できるサービス)」を活用できるようにしておきましょう。

一般電話、携帯電話、公衆電話から利用できます。

NTT EAST 災害時の安否情報がやりとりできるサービス

171 災害用伝言ダイヤル

自宅や外出先から、電話で「171」をダイヤル

録音の場合 **1** **3**

再生の場合 **2** **4**

web171 <https://www.web171.jp>

災害用伝言板

参考：NTT 東日本公式ホームページ (http://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/) 'ご利用方法'

毎月1日と15日、正月三が日などは体験利用ができるよ。家族で練習しておこう。



知ろう

地域密着の臨時災害放送局

東日本大震災後、自治体が新規開局したり、コミュニティFMとして被災者向けにFMラジオで地域密着の情報を届けたりしている市町がありました。被災当初の給水・炊き出しなどの救援情報から、地域のみなさんに役立つ復興情報や住民を元気づける情報を放送していました。



写真提供：宮城県広報課
山元町臨時災害放送局 りんごラジオ